

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 7 年 12 月 1 日

所在地 韮崎市穴山町 2191 番地 7

企業名 真造園株式会社

代表者 清水 眞二

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

当社は、造園土木施工事業を含むすべての事業において、品質管理を徹底し、「造園を通じ落ち着ける場所、癒しの場所」を提供していきます。また、長時間労働の削減や、休暇取得を推奨し、社員が健康で、いきいきと働き続けられる職場環境づくりに努めます。さらに、資源利用の削減、再利用、再資源化 (3R) に取り組み、環境負荷低減に努め、持続可能な社会の実現・SDGs 達成に貢献していきます。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 5 年 12 月 1 日	
✓環境 □社会 □経済	ごみ分別の徹底・省エネ設備への切り替えで、CO2 排出量の削減	CO2 排出量を 2030 年 に向け 30%削減を目標 指す	伐採木、剪定枝、石、 砂等は再利用に取り 組む。 指標の現状値：都度	(進捗率) 60%
□環境 ✓社会 ✓経済	社員が自己成長できる職場環境の 整備	スキルアップ研修の実 施 現在：3 回 ⇒2030 年：6 回	環境問題意識を高 め、省エネ活動実践 の研修 指標の現状値：3 回	(進捗率) 50%
□環境 ✓社会 □経済	公園の樹木管理・整備などを行い、 地域活性に貢献	地域のボランティア活 動への参加 現在：2 回 ⇒2030 年：6 回	公園の除草等美化 活動、管理 指標の現状値：2 回	(進捗率) 33%

2030 年の目指す姿

資源利用の削減、再利用、再資源化 (3R) に取り組み、環境負荷低減に努めつつ、
品質管理を徹底し、「造園を通じ落ち着ける場所、癒しの場所」をお客様へ提供し続けている。